

平成29年 第2 予算審査特別委員会討論要旨

◎ 会 派 清 新

会派清新を代表しまして、第2 予算審査特別委員会に付託されました議案第2 号から第8 号並びに関連議案1 件の全てを可とする立場で討論いたします。

2014年、人口問題を発端に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地方創生がスタートしました。本市においても、創生総合戦略が示されたわけですが、経済の好循環が地方において実現しなければ、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクを抱えております。人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保するために、人口・経済・地域社会の課題を一体的に取り組む必要があると思います。このたびの予算編成におきましては、市理事者、担当職員におかれましては、大変ご苦勞をされましたことに敬意を表しますとともに、新年度に向けての諸課題に対する一層の努力をされますことをお願いいたします。

各事業会計、特別会計におきましては、人口減少が進む中で、財源の確保が大変厳しくなると思われます。また、高齢者が増加することにより、医療費の増加は免れません。しかし、市民の安全と安心に役立てていかなければならない行政としての努力をお願いいたします。特に病院事業会計におきましては、大幅な赤字経営を解消されていくための病院改革を進めていかれることを切にお願いし、会派清新の討論といたします。

◎ 会 派 み ど り

会派みどりを代表して、第2 予算審査特別委員会に付託されました議案第2 号から第8 号の7 件並びに関連議案第9 号の1 件について全てを可とする立場で、以下若干の意見を付して討論をいたします。

1. 介護保険特別会計

対象者が年々増加する中、当会計は市民の福祉向上においてますます重要になっております。国の制度変更も頻繁に実施され、当市でも新規予防事業に取り組む等複雑になってきていますので、市民に分かりやすい説明と確実な給付にご留意をお願いします。

2. 病院事業会計

病院医師・看護師・技師など全ての職員が、経営状況になお一層の危機感を共有し、策定した経営計画に沿って実行・検証を行うことを要望します。

3. 下水道事業会計

社会インフラである下水道の計画整備を進めるとともに、台風やゲリラ豪雨に対して最小限の被害に抑えるような対策の構築と速やかな実行の準備をお願いします。

4. 土地区画整理事業特別会計

当初計画から大幅に遅れている当事業が、都市マスタープラン実現などに影響が及ばないよう予算確保になお一層の努力をお願いします。

5. 公営住宅事業特別会計

民間管理委託初年度に当たることから、市民への周知とスムーズな移行に留意して、委託業者と綿密な情報交換と強い連携を図っていただきたい。

6. 国民健康保険特別会計

収納率向上に努め、特定健康診査受診率を高めることで市民の健康増進を図られたい。

7. 後期高齢者医療特別会計

対象者に対する広報活動と健康診査など予防事業を確実に実行されたい。

最後に、平成 29 年度予算を編成された、市理事者並びに担当者に敬意を表するとともに市民のための各

事業を確実に実行されることを期待いたしまして会派みどりの討論といたします。

◎ 新 政 会

新政会を代表して、第2予算審査特別委員会に付託されました、平成29年度予算、議案第2号から第8号まで、関連議案第9号の8件につきまして、可とする立場で討論いたします。

初めに、厳しい財政状況の中、経費節減など無駄を省き、効率的かつ効果的な予算編成に尽力された市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

平成29年度は「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「滝川市財政健全化計画」の3年目に当たる年度であり、市政にとっては、将来にわたる健全な財政運営の実現と地方創生をさらに加速するための予算編成だと認識しております。計画的かつ適切な予算の執行を要望いたします。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

1. 国民健康保険特別会計予算

市民の健康増進を図るため、特定健康診査の受診率向上に努められたい。

2. 公営住宅事業特別会計予算

市営住宅の老朽化を踏まえ、計画的に建て替え・改修に予算を計上していることを評価いたします。平成29年度からは、市営住宅の維持管理が指定管理者に業務委託されますが、初年度ということもあり、様々な障害が生じるものと予想しております。行政と管理者側の連携を密にして、入居者に不便さを感じさせないように配慮していただきたい。

3. 介護保険特別会計予算

平成29年度は「第6期介護保険事業計画」の最終年度であり、同時に「第7期介護保険事業計画」の策定年度でもあります。第6期事業計画の推進と同時進行で、第7期事業計画を作成することは、大変なご苦労があると推察いたしますが、第6期事業計画の成果及び問題点などを、しっかりと分析・評価・検討され、第7期事業計画に反映していただきたい。

4. 下水道事業会計予算

長期的な視野に立ち、計画的かつ効率的に老朽化した設備などの更新を行い、安定した経営に尽力されたい。

5. 病院事業会計予算

他自治体病院では医師不足が深刻な問題となっているところ、新たに整形外科医、眼科医を招聘し、理学療法士を新規採用されることを評価いたします。

平成29年1月に、「滝川市立病院 経営計画（素案）」が策定され、①平成32年度経常収支比率100%以上、②平成27年度資金不足5億円の早期返済、③病院中期計画ビジョン「患者にもスタッフにも選ばれる“マグネットホスピタルに”」の実現など、3つの目標を掲げ、計画に基づき各種施策を推進し、健全な病院経営を目指していくわけですが、この計画を具現するためには、収益確保に向けた医師の取組みが不可欠であると思われます。

今後の各種会議・会合などの場を活用して、認識の統一を図られ、各医師が共通の想いを持って意欲的に診療業務に当たられるよう努力していただきたい。

以上、討論といたします。

◎ 公 明 党

公明党を代表し、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第8号並びに関連議案第9号を可とする立場で討論いたします。

厳しい財政状況の中で予算編成を進められました市理事者、職員の皆様に敬意を表します。

将来にわたり、少子高齢化、人口減少が予想される中で、行財政改革が最重要課題と考えます。市長のリーダーシップのもとに、職員全員が改革に取り組むことを強く求め、以下若干の意見を述べて討論いたします。

1. 公営住宅事業特別会計

指定管理にともなう業務委託の円滑化に取り組み、市民の満足度に努力されたい。

2. 介護保険特別会計

第7期事業計画が、2025年を見据えた国の指針を踏まえて今年度は検討されると思うが、大事な視点は、市民ニーズを調査し検討していただきたい。誰もが健康で元気な老後生活を望んでいると思います。そのため行政サービスは介護予防サービスだと思います。現在取り組まれている百歳体操や今年度から実施されるボランティア活動のポイント制度など評価しますが、さらに推進に努められたい。

3. 下水道事業会計

全国で発生している陥没事故に対し、本市における課題は2点あると考えます。

1つは将来的に無事故のメンテナンス計画、もう1つは、必ず必要な設備更新に対し、コストダウンのシミュレーション作成に努められたい。

4. 病院事業会計

厳しい経営状況を踏まえて、改革プランが作成されました。医師、技師の確保もされ、充実してまいりましたが、全ての病院関係者が、この改革プランを理解していただき健全経営に努められたい。

◎ 日 本 共 産 党

私は、日本共産党を代表して、第2予算審査特別委員会に付託された、議案第6号「土地区画整理事業特別会計予算」第3号「公営住宅事業特別会計予算」を否とする立場で、また議案第2号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号を可とする立場で討論を行います。

まず初めに、厳しい財政状況の中で、市民生活を第一に行政執行に当たられた市長、理事者、職員の皆様に敬意を表します。

議案第6号 土地区画整理事業特別会計予算について

泉町土地区画整理事業については凍結もしくは中止と判断するべきです。

その理由の1点目は、都市計画に基づいて拡幅とクランクの解消をすることは、都市計画自体が見直されたとはいえ、将来の3丁目通りの立体交差化などを見越したもので、時代に合っていないこと。2点目は、整備されても街路灯が設置されない可能性が高く、歩行者などが夜、歩けなくなる道路になりかねません。

議案第3号 公営住宅事業特別会計予算について

維持管理業務の指定管理化について反対の理由の1つ目は、指定管理事業所へ直接出向く際、市庁舎から約1キロメートル離れた指定管理事業者社屋へ行かなければなりません。これで道内の179市町村の中で、庁舎から一番遠い窓口になります。

そして、2つ目は指定管理化について、市民への説明が全くなされていない。公営住宅法に基づく施策の大転換について、市民の意見を聞かない進め方は、問題があると思われます。

次に意見を述べさせていただきます。

公営住宅に関する問い合わせ等が市民よりあった場合に、市庁舎、江部乙支所に申請用紙等を設置して対応すること。直接取りに行けない状況の方がいる場合、郵送での対応も可能と日本共産党の質疑による答弁がありました。入居者へは全世帯へ窓口が指定管理業者へ変わる旨のチラシが配布されております。しかし、新たに入居を予定する市民への周知は限られており、広報以外にFMG'sky、町内会回覧板等がありま

すが、今後も周知の徹底実施を求めます。

長寿命化計画と新築の団地は計画どおりに建築されます。しかし、築年数が経過している平屋団地の入居者からの様々な影響による指定管理者への修繕依頼がある場合には、指定管理者へのしっかりとした監督を求めます。

議案第2号 国民健康保険特別会計予算について

第1定例会の日本共産党清水議員による代表質問の答弁で「平成23年度以降、基金を取り崩しながら国保財政を維持してきたが、平成28年度をもって基金が底をつきそうな状況となっている。平成29年度も引き続き厳しい国保財政となる。平成30年度からスタートする都道府県単位化によって、納付金方式に変更になる制度改正を控えていることから、今後は平成28年度の決算結果、平成29年度の収支見込みを見定めながら、平成30年度からの保険税見直しについて検討をしたいと思う。」とありました。国保の都道府県化による大きな改正ですが、これ以上、市民に大きな負担がかからないように、一般会計からの繰り入れを含め、国保税を引き上げないよう努められたい。葬祭費の支払いについては、生活困窮者からの相談があれば、現金で給付も選択できることを周知されたい。

議案第4号 介護保険特別会計予算について

議案第5号 後期高齢者医療特別会計予算について

制度の改正が平成27年度実施されていますが、特定入居者介護サービス費については、家族の課税・非課税がわかる書類と預貯金通帳の写しを提出することになっていますが、手続の進め方については市町村に任されているということですから、入居者とご家族の苦労を少しでも緩和できるように努められたい。

また申請などの手続は郵送でも可能ですが、利用をされる高齢者に対して十分な対応をされたい。

議案第7号 下水道事業会計予算について

議案第9号 下水道事業会計資本金の額の減少について

下水道分流化事業については、河川の水質を保全するため、合流式下水道区域の分流化工事 約 12.2ha を実施すると述べている。下水道事業は、100年先を見通すような多世代間にかかわる性格を持つものです。総務省が求めている経営戦略の進捗状況について日本共産党の代表質問の答弁で、今後の本市における下水道事業の経営状況を見据えるとともに、使用実態に即した公平性を感受できるものとなるよう、審議会などしかるべき組織にはかり、中空知広域水道企業団と協議を行いながら健全経営を継続できるよう検討してまいりたいと考えている。」とありました。今後の下水道事業も健全運営に努力されたい。

議案第8号 病院事業会計予算について

市立病院経営5か年計画を策定しており、経費の縮減を初め、市民からの信頼を向上させるための、サービスやイベントを通じて、病院が地域住民とのコミュニケーションを大切にしていること等、経営に惜しみない努力をされています。今後も病院の健全運営に努力されたい。

以上、日本共産党の討論といたします。